

正しく
強く
誠実に

潮来一中だより

3月号

文責：
佐藤



本校の教育目標

- 「確かな学力を身に付け 個性と創造性に富んだ 心豊かでたくましい生徒の育成」
めざす生徒の姿
- 自ら課題を見つけ、主体的・対話的に学ぶ生徒（知）
 - 心豊かに表現し、優しく思いやりのある生徒（徳）
 - 規則正しい生活を送り、心身ともに健康な生徒（体）

スローガン

- ①目標に向かって努力し、夢に向かって挑戦する ②時を守り、場を清め、礼を正す

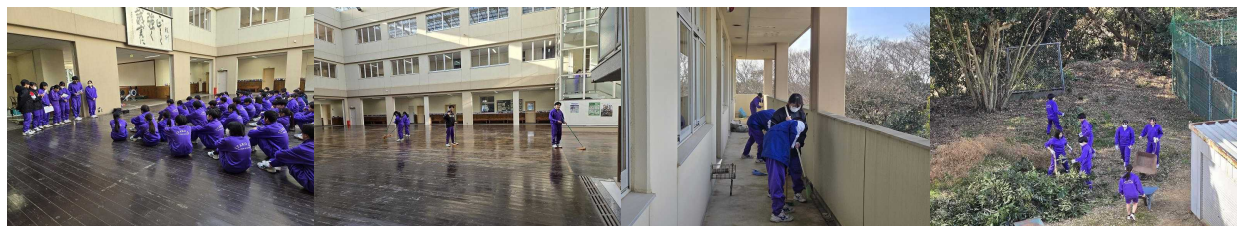
明日から本年度のまとめの3月に入ります

寒かった2月も今日で終わりを迎え、明日からは3学期最後そして令和6年度の最後の月の3月に入ります。3年生は卒業そして1・2年生も進級間近になりました。卒業式は3月11日、終業式は3月24日ということで、登校日数も残りわずかです。時間は少ないですが、全校生徒一人一人が、4月からの新しいステージでそれぞれ自分のよさを発揮し光り輝けるよう、教職員一同力を合わせ、今後も支援を進めてまいります。

自分の思いを言葉で伝える大切さ（生徒の皆さんへ）

本年度の生徒数は149名ですが、149名の一中生には149の個性があります。そのたくさんの個性の中に自分の思いや考えの伝え方があります。自分の思いを上手に言葉で伝えられる人。相手のことや立場を考えず思ったことをすぐ口に出してしまう人。逆に思っていることを口に出すのが苦手な人。相手のことを考えて思いを伝えられる人はもちろんいいとして、思ったことをすぐ口に出してしまう人はどうでしょうか。そうです、時と場合によりその相手の心を深く傷つけることがあります。例えば言われた本人がずっと気にしている身体的な特徴などです。言った本人に悪気がなく軽いからかいや冗談のつもりでも、言われた方はショックを受ける場合があります。従って、思ったことをすぐ口に出しがちな人は、口に出す前に「容姿的なからかい」や「相手のいやがること」はダメだと即座に判断し、ぐっと言葉を飲み込めるようになってください。一方自分の思いを口に出すのが苦手な人はどうでしょう。もし何か友達からからかわれたりいやなことを言われたりした時、はっきりと「それはいやだ」と相手に伝えないとどうなるか。そうです、その場合からかっている方が「これくらい大丈夫なんだ」「喜んでるじゃん」などと感じてしまい、そのまま発言が続いたりエスカレートしたりすることがあります。つまり、「それはいやだ」と口に出すことは、からかってくる相手に誤解をさせないためにとても大切です。しかしどうしても直接言えない時は、他の誰かにきちんと言葉で伝えて解決を図ってください。

●●●●●●●●●● 創立記念日集会での清掃作業 ●●●●●●●●●●



潮来一中の創立記念日は2月22日ですが、今年は土曜日で学校が休みだったので、前日の21日（金）の6校時に集会を開き、全校生徒でアトリウムのワックスがけを始め、校舎内外の清掃活動を行いました。普段の清掃の時間にはできない作業を中心に、クラスメイトと協力して一生懸命がんばる姿はとても素晴らしかったです。

結びに

3月11日（火）に卒業式を迎えられる第3学年の保護者の皆様方、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。職員一同、卒業生のそれぞれの進路先での活躍を祈念すると同時に、これからも応援しています。

One for all, All for one 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』